

社会教育主事のすすめ



No.36 では初めて耳にする方もいるかもしれませんが、『社会教育主事』についてお話をします。

★そもそも社会教育主事とは 社会教育主事は、都道府県及び市町村の教育委員会の事務局に置かれる専門的職員で社会教育を行う者に対する専門的技術的な助言・指導に当たる役割を担います。

★社会教育主事の職務は 職務の例としては次のとおりです。

- 1 教育委員会事務局が主催する社会教育事業の企画・立案・実施
 - 2 管内の社会教育施設が主催する事業に対する指導・助言
 - 3 社会教育関係団体の活動に対する助言・指導
 - 4 管内の社会教育行政職員等に対する研修事業の企画・実施
- など、その業務は多岐にわたっています。



社会教育主事になるためには 社会教育主事になるには、いくつか条件がありますが講習を受ける必要があります。

新潟県では以下のとおりに社会教育主事講習を受けることができます。

○以下のいずれかに該当する方

- ・大学・短大等を卒業
- ・教員免許を所有
- ・社会教育関係の職に2年以上従事
- ・学校に4年以上勤務等 (文科省 HP「社会教育士」より)

【令和5年度】

○新潟大学社会教育主事講習 7月下旬～8月下旬

※新潟大学が会場です。

○社会教育主事講習 [B] 1月中旬～2月中旬

※当センターが会場です。全県から受講されます。

◎国立教育政策研究所 社会教育実践センターでの受講

※詳細は国立教育政策研究所 社会教育実践センターHPまで

○社会教育主事講習 [A] 7月中旬～8月中旬

○社会教育主事講習 [B] 1月中旬～2月中旬
(新潟会場と同内容のものを東京で受講することになります)

他には、他県で受講される方もいます。

(昨年度は新潟会場に福島県の方が受講されました。)

今年度は全ての会場の申し込みは締め切られましたが、今後チャレンジしてみたいかがでしょうか。



さらに社会教育士になるためには

社会教育士は文部科学省が認定する「称号」です。

従来からある「社会教育主事制度」を拡張する形で、令和2年度(2020年度)から始まりました。大学などで定められた科目を修了した者は、教育委員会から発令を受けていなくても社会教育士を名乗れるのが特徴です。国家資格ではないため就業可能な職種の広がりは大きく期待できませんが、取得することで、教育の力で地域課題を解決する能力を持つことをアピールできます。

★新潟県の生涯学習の情報なら

ラ・ラ・ネット

検索

お問い合わせ：新潟県立生涯学習推進センター TEL 025-284-6110 ※写真はすべて令和4年度社会教育主事講習の様子です